



大方くじら保育所



子ども一人ひとりを大切に、
心身ともにたくましく感性豊
かな子どもを育てる

佐野 久美

平成16年4月に伊田、上川口、東部の3つの保育所が統合して、大方くじら保育所が開設されました。季節に応じて海、山、川に歩いて出かけられるとても環境の良いところです。現在79名の子どもたちが保育所生活を楽しくしています。保護者、地域の方々も、避難訓練や夕涼み会、運動会などにとっても協力してくださり、たくさんの方々に見守られ、やさしくたくましく育っている子どもたちです。

◆Tシャツアート展に参加して

黒潮町の大きなイベントであるTシャツアート展に参加することで、「ふるさとの良さをもっと実感してもらいたい」、「自分たちの住んでいる地域に誇りを持ってもらいたい」という思いから、卒園の記念として昨年度から取り組んでいます。美しい砂浜で自分の作品が実際にひらひらしているのを、卒園児は家族と見に行くことで、

達成感や自信につながり、イベントへの理解も深まります。
また、在園児(4・5歳児)は卒園児の作品が飾られているのを見に行くことで、自分たちも参加したいという意識が高まっています。



◆体験することが生きる力に

大方くじら保育所は歩いて河川プールへ川遊びに行ける町内唯一の保育所です。山道は転ばないよう自分でバランスをとりながら目で見て、頭で考えて歩かなくてはなりません。山道は身体の発達を促すのに最適です。河川プールでは、友だちと一緒に川の流れに乗ってワニ泳ぎをしたり、川の生

き物を見つかったり、笑顔も増えます。仲間と一緒に夢中になってわくわくしながら遊んでいく中で、楽しさを分かち合う経験をする。それこそが子どもたちの人間的成長の基盤になっていくと思います。帰り道は河川プールで地震が起きた場合を想定して、避難訓練をしました。保護者の方も一緒に参加してくれました。



◆バランスのよい朝ごはん

「朝食クッキング」と題して、5歳児が簡単な朝食作りに挑戦しました。子どもたちが火や包丁を使わずにできる朝食メニューを「おいしくなれ」と言いながら作りました。



翌日には「一緒に作ってみました」という保護者からの声もあり、これからもバランスのよい食事の大切さを家庭へ伝えていきたいです。

◆地域のおばあちゃんたちと

子どもたちが「お芋ばあちゃん」と呼ぶ地域のおばあちゃんたちと、菜園活動を一緒にしています。芋のつるさしから草引き、収穫までいろいろ教えてもらい、一緒にひがしやま(干し芋)作りをしました。4・5歳児が皮はぎをし、目の前ででき上がったひがしやまの味は格別なものでした。この活動を通して、おばあちゃんたちのやさしさに触れ、また、ふるさとの味を知る貴重な体験となりました。

